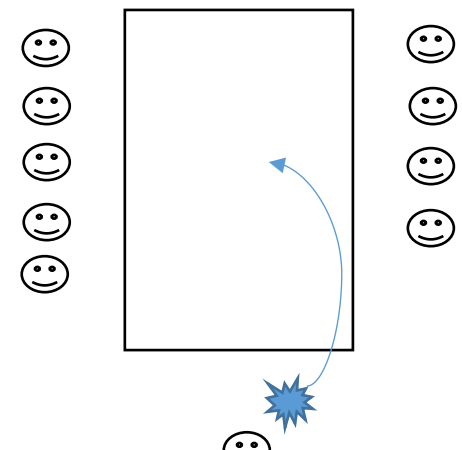


自作教具の活用事例

【作品名】 ハロウィン ～クモの巣まとあて～	【学校名】 日立市立櫛形小学校
【活用できる領域・教科等】 生活単元・自室活動・算数	【制作者名】 力石 寿江
【制作の意図】 特別支援学校児童との居住地交流の際に、楽しみながら交流ができ、かつ2桁+2桁のたし算やひき算の計算に協力しながら取り組むことができるのではと考え、制作した。	【使用方法】 くじびきで2チームに分かれ、ルールを確認する。話し合いで順番を決め、シートに記入する。記録係を決める。もじゃもじゃボールを投げ、点数をチェックする。合計点を筆算スペースや電卓を活用して計算する。
【制作上の工夫】 児童たちが協力してビニールテープを貼ったり、相談して点数をシート記入したりするなど、自分たちで考えて制作することができる場面を設けるようにした。 普通の丸いボールでは、転がって点数がつけにくいため、転がりにくいもじゃもじゃボールを使用した。	【見取り図】 
【写真】 	【使用効果と応用発展】 友達と相談したり、応援したりして、楽しみながら活動することができる。 計算が苦手な児童には、電卓をもたせて確認係を任せることで、どの子も計算の経験をすることができる。 高学年では、2桁×2桁の掛け算の計算に取り組ませることができる。
【材料・材質・部品等】 シルバー断熱シート もじゃもじゃボール かご ビニールテープ	

